

うぽーる図書室だより(7月分)

◆ 913 孤道/内田康夫

著者病気のため、未完のまま刊行することとなった、熊野古道を舞台に繰り広げる、壮大な歴史ロマンミステリー。

◆ 913 自覚/今野敏

大森署署長・竜崎伸也は、いかなる危機でもぶれないー。“変人”キヤリア官僚・竜崎の活躍を、反目する野間崎管理官、“やさぐれ刑事”戸高、盟友・伊丹刑事部長ら個性豊かな面々を通して描く。

◆ 913 かがみの孤城/辻村深月

部屋に閉じこもっていたこころの目の前で、鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先の世界には、似た境遇の7が。秘めた願いを叶えるため、7人は城で隠された鍵を探すー。

◆ 913 劇場/又吉直樹

1番会いたい人に会いに行く。こんな当たり前のことが、なんでできへんかったんやろなー。かけがえのない大切な誰かを想う、切なくも胸にせまる恋愛小説。

◆ 913 のんきに生きる/鈴木登紀子

「なんとかなる」は魔法のことば、人生を好転させる「生きる知恵」、「食べる事」は人生そのもの…。日本料理研究家・鈴木登紀子が、92歳の今も現役で活躍する秘密を紹介する。

◆ 913 潮騒はるか/葉室麟

時は安政の動乱期。夫殺しの疑いをかけられた女の、決死の逃避行に隠された衝撃の真実とは？己のまことを信じ、懸命に生きる人々の姿を描いた時代小説。

◆ 913 風とにわか雨と花/小路幸也

僕が9歳、風花ちゃんが12歳になった4月にお父さんとお母さんは、リコンした。海辺の町を舞台に繰り広げられる、ひと夏の家族物語。

◆ 913 疑葉/鎧木蓮

新薬、それは希望か絶望かー。狂わされた運命、隠された真実。母は光を失い、娘は真相を追う。母はなぜ、光を失ったのかー？骨太社会派医療ミステリー。

らぽーる新刊案内(7月分)

受入番号	著者名	書名
11015180	主婦の友社	家庭の医学 新訂 ハンディ版
11015203	清水 京武	知らないと損をする! 国の制度をトコトン使う本
11015204	山田 奈美	昔ながらの知恵で暮らしを楽しむ家しごと
11015205	今野 敏	自覚 隠蔽捜査5.5 (文庫)
11015206	桜庭 一樹	青年のための読書クラブ (文庫)
11015207	辻村 深月	かがみの孤城
11015208	又吉 直樹	劇場
11015209	鈴木 登紀子	のんきに生きる 「ああ、おいしい」は生きがいになる
11015210	内田 康夫	孤道
11015211	樋口 謙次	日本と中国、もし戦わば ー中国の野望を阻止する「新・日本防衛論」ー
11015212	中島 久枝	いつかの花 ー日本橋牡丹堂菓子ばなしー (文庫)
11015213	新津 春子	人生を動かす仕事の楽しみ方 ー才能よりも大切な「気づく力」ー
11015214	花田 信弘	歯周病が寿命を縮める ー日本人が知っていそうで知らない歯の話ー
11015215	鎌木 蓮	疑薬
11015216	葉室 麟	潮騒はるか
11015217	秋山 開	18時に帰る
11015218	肥塚 泉	図解専門医が教える! めまい・メニエール病を自分で治す正しい知識と最新療法
11015219	小路 幸也	風とにわか雨と花
11015220	小川 糸	にじいろガーデン (文庫)
11015221	鎌木 蓼	P・O・S -キャメルマート京洛病院店の四季- (文庫)
11015222	喜多 みどり	弁当屋さんのおもてなし ーほかほかごはんと北海鮭かまー (文庫)
11015223	窪 美澄	水やりはいつも深夜だけど (文庫)
11015224	十三 湊	ちどり亭によこそ 2 ー夏の終わりのおくりものー (文庫)
12007180		危険・有毒生物 (学研の図鑑LIVE POCKET 5)
12007185	ゲオルグ・ハレンブリサとガスパールとうきょうへいく	
12007186	かんべ あやこ	モリくんのあめふりぴーまんかー
12007187	角野 栄子	キキとジジ ー魔女の宅急便<特別編 その2>ー
12007188	川端 誠	お化けのおもてなし